

各位

2024年12月

PSジャパン株式会社

モノマー化ケミカルリサイクルポリスチレンの「豊洲市場まつり2024」での採用について

PSジャパン株式会社（本社：東京都文京区、代表取締役社長：顕谷 一平）は、サステナブル（持続可能）な社会の実現に貢献するべく、ポリスチレン（PS）のリサイクルならびにバイオマス化の取り組みに注力しています。このたび、豊洲市場協会（伊藤裕康会長）が11月3日に開催した「豊洲市場まつり2024」（※1）で使用する食品容器、スタンプラリー景品となるキーホルダー向けに、当社でモノマー化ケミカルリサイクルした原料を使用して製造したポリスチレン（PS）を採用頂きました。

豊洲市場では、発泡スチロール廃棄物（魚箱）を市場内で収集し減容（※2）しています。減容物（インゴット）は主に輸出されリサイクルに回り、マテリアルリサイクルによりプラスチック製品などに再生されています。一方で、廃棄物の輸出入規制などから、より安定的な国内循環が求められています。そのような中、豊洲市場協会では、ケミカルリサイクルによる実証事業を通じて、市場内発泡スチロール廃棄物を再資源化するリサイクルの取り組みについて、認知度を高める試みを企図されました。

今回当社は、PSリサイクルの社会実装化を目指す生産者として、豊洲市場協会の主旨に賛同し、実証事業に参画しました。市場内で処理されたインゴットを当社の水島プラント（岡山県）でモノマー化ケミカルリサイクルして原料スチレンモノマーに還元してPSを製造しました。当社が製造したPSを食品容器、キーホルダーメーカー（※3）に販売し、生産された食品容器、キーホルダーを豊洲市場協会に購入頂きました。



食品容器



キーホルダー

当社では、2023年9月からモノマー化ケミカルリサイクルの実証運転に取り組み、運転条件の検証とケミカルリサイクルの課題抽出を進め、引き続きPSリサイクルの社会実装化に向け、お取引先や関係各所と連携して取り組んでまいります。

(※1) 豊洲市場移転後では初めての開催となり、5万人が来場。

<https://www.toyosu-market.or.jp/2024/09/06/8708/>



当日使用された食品容器

(※2) 豊洲市場における発泡スチロール廃棄物処理量  
2023年度 合計 1,615トン 1日平均 6.3トン

(※3) 制作物と製造メーカーは以下。

- ・ 海鮮丼や海鮮串などの販売に使用する丼容器・トレー（約2万枚）  
製造メーカー シーピー化成（株）（岡山県井原市、三宅慎太郎社長）
- ・ スタンプラリー景品「豊洲のいちばにゃんキーホルダー」（2,000個）  
製造メーカー （株）富士松（大阪府大阪市、堤敦史社長）

<ご参考>

PSジャパン株式会社の概要

本社：東京都文京区小石川一丁目4-1

社長：顕谷 一平

株主：旭化成株式会社 62.07%、出光興産株式会社 37.93%

資本金：50億円

売上高：約640億円（2023年度）

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

PSジャパン株式会社 企画管理部、サステナビリティ推進部

TEL：03-5689-6543